

施工説明書

ドラム式電気洗濯乾燥機 (家庭用)

品番 **LXシリーズ**

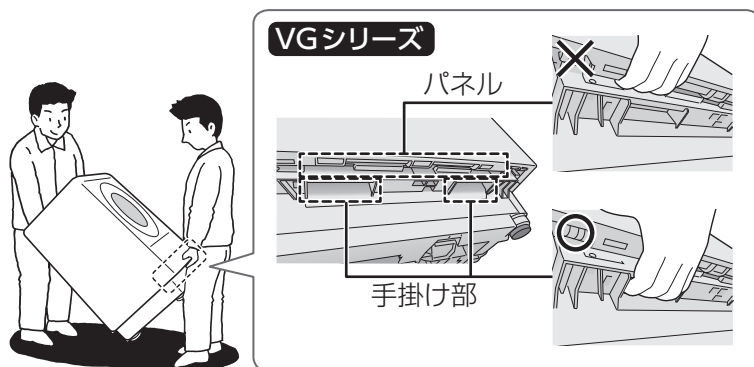
NA-LX129AL/R NA-LX127AL/R
NA-SLX12AL/R NA-LX125AL/R
NA-LX113AL

VGシリーズ

NA-VG2600L/R NA-VG760L/R

(L: ドア左開き、R: ドア右開き)

■ 運搬は必ず2人で



製品運搬時は正しい手掛け部を持つ(パネルの変形防止)



■ ドアの中央を強く押さない (変形防止)



※本書で使用しているイラストはイメージです。

据え付けをされる方へ

- 製品の機能が十分発揮されるよう、この説明書をよく読み、正しく安全に据え付けしてください。
- NA-LX129A、NA-LX127A、NA-VG2600は無線機器内蔵です。「スマホで洗濯」アプリ活用ガイドの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 据え付け終了後、「点検・試運転をする」に基づいて必ず確認を行ってください。
- 外した輸送用固定ボルト、付属のスパナは転居などの際に必要です。お客様にお渡しください。
- この説明書は据え付け終了後、お客様にお渡しください。
- この説明書どおりに据え付け・取り付け・試運転をしないと、事故・損害を生じても当社は一切責任を負えません。

お客様へ

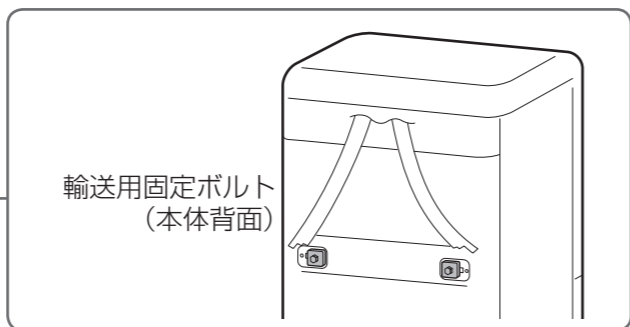
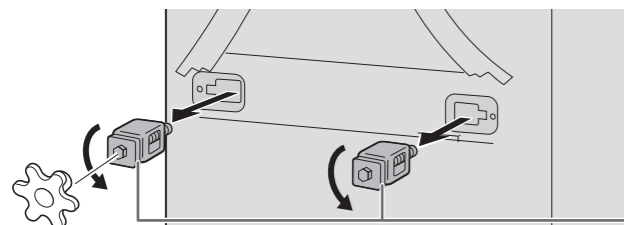
- 据え付けは、必ずお買い上げの販売店または施工業者にご依頼ください。お客様は据え付けしないでください。
- 転居や排水管の洗浄などで再据え付けする場合がありますので、この説明書は「取扱説明書」とともに大切に保管してください。
- 万が一の水漏れに備え、防水フロアーの設置をおすすめします。

1	輸送用固定ボルトの 取り外し	P.2
2	据え付け場所と 周辺寸法	P.3
3	据え付け前の確認と準備 (別売品)	P.4
4	排水部の接続	P.8
5	給水部の接続	P.12
6	脚の高さ調整・ 電源接続	P.13
7	点検・試運転	P.14

1 輸送用固定ボルトの取り外し

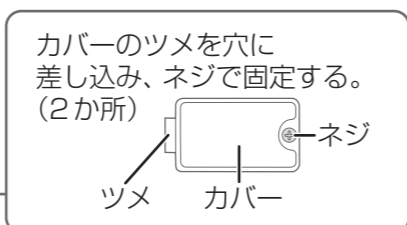
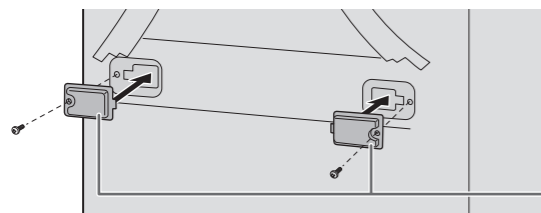
異常振動防止

1 本体背面の輸送用固定ボルトを付属のスパナで外す



輸送用固定ボルトがついたまま運転すると振動が大きくなったり、商品が動くことがあります。危険です。

2 付属のカバーをネジで取り付ける



注意
カバーを必ず取り付ける
 (端面などでのけが防止)

お願い

- 外した輸送用固定ボルト、付属のスパナは転居などの際に必要です。お客様にお渡しください。
- 本体を輸送するときは、逆の手順で取り付けてください。また、排水ホースを立てかけた状態で運搬してください。

■ 付属品

- 給水栓継手 (1 個)
- 給水ホース (1 本: 長さ 0.8 m)
- 外部排水ホース (1 本: 伸縮式)
- ホース穴カバー (1 個)
- スパナ (1 個)
- カバー (2 枚)
- ネジ (2 個) (M4 × 8)

2 据え付け場所と周辺寸法

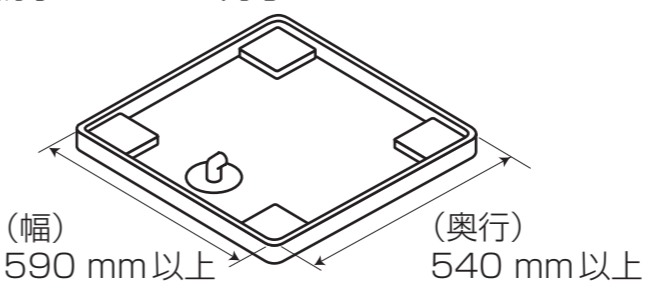
設置に適さない場所

- 凍結のおそれがある場所 (凍結すると洗濯も乾燥もできません)
- 直射日光が当たる場所
- 窓や換気扇のない場所
- 不安定で、床面が弱い場所
- ブロックや角材、レンガの上やキャスター付きの台など
- タイルなどのすべりやすい場所
- カーペットなどで本体下がふさがり場所・糸くずなどが蓄積した場所
- 水のかかる場所、水場や湿気の多い場所 (漏電による火災・感電のおそれ)

本体の金属部分が、家屋の金属板、流し台のステンレス板などと電氣的に接触しないようにしてください。法令 (電気設備の技術基準の解釈) により義務づけられています。

設置の前に

- 防水フロアの内寸
- 据え付け前に排水口を掃除する



収納して据え付けする場合
 前面を開放して、壁面から表の寸法以上離してください。

消防法 基準適合 組込形 可燃物からの離隔距離 (cm)

LXシリーズ				VGシリーズ			
上方	側方	後方	下方	上方	側方	後方	下方
30 [23] *1	1 *3	1	0	26 [23] *2	1 *3	1	0

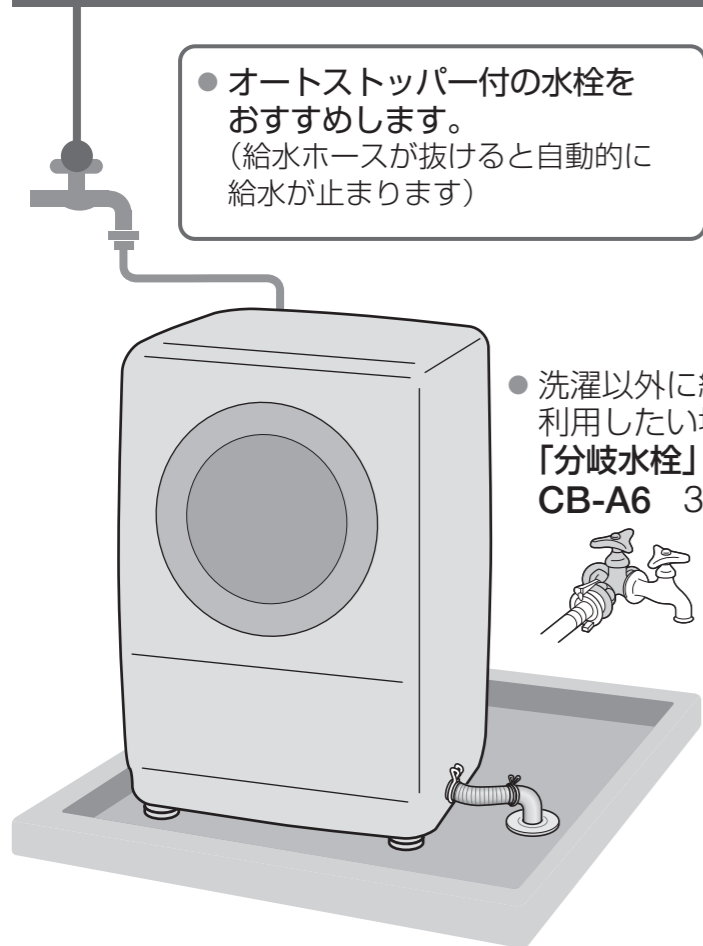
※1 [] 内距離は NA-LX125AL/R、NA-LX113AL
 ※2 [] 内距離は NA-VG760L/R
 ※3 排水ホースの接続側は 9 cm 以上

輸送用固定ボルトの取り外し
 1
 2
 据え付け場所と周辺寸法

3 据え付け前の確認と準備 (別売品)

メーカー希望小売価格は2021年7月現在(税込)

水栓 (P.12)



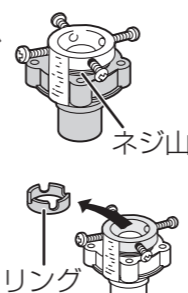
横水栓



付属の給水栓継手を取り付けてください。

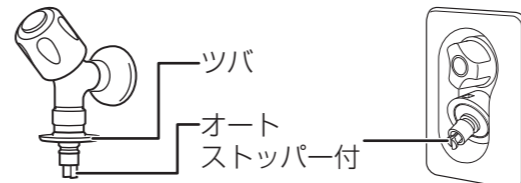
- 1 ネジを緩める (4本)
- 2 水栓につなぎ、ネジを均等に締める
- 3 テープをはがす
- 4 A部を右に回してしっかり締める (緩いと水漏れの原因)

- 継手をつなぎ直すときは、先にネジ山が約4mm見えるまでA部を左に回してください。
- 水栓の径が18mm～24mmのときは、ネジを緩めてリングを外してください。

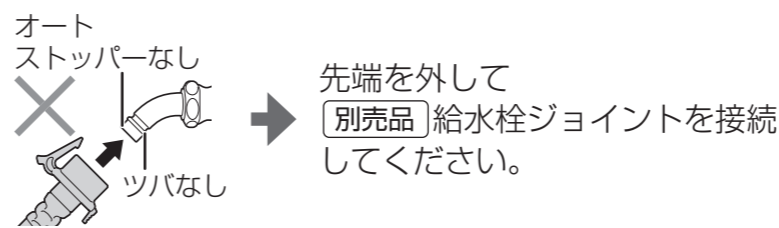


洗濯機専用水栓

壁埋め込み以外 壁埋め込み



そのままホースを接続できます。

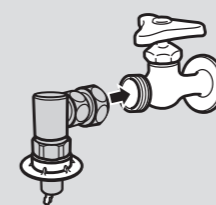


以下の水栓のときは別売品が必要です。

万能ホーム水栓 / ワンタッチ式水栓



「給水栓ジョイント」(別売)
(オートストッパー付)
CB-J6 2,640円



自在水栓 / カップリング横水栓

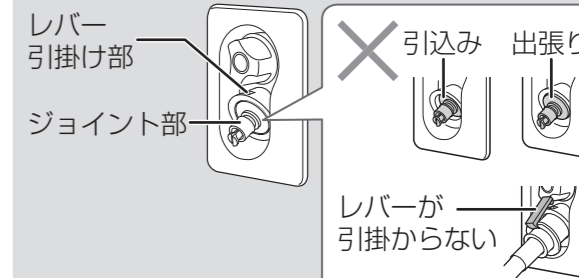


「給水栓継手」(別売)
(オートストッパー付)
AXW12H-J6 1,980円



CB-J6も取り付けできます。

お願い



ジョイント部の出代によっては給水ホースのレバーが引掛からない、しっかり差し込めない、ぐらつく等の場合があります。水栓メーカーにお問い合わせください。

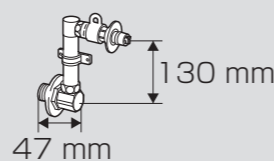
■ 水栓の位置が低く、本体背面に当たる場合



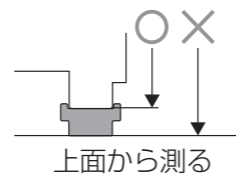
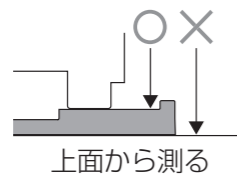
LXシリーズ 蛇口までの高さ		壁ピタ水栓
NA-LX125AL/R、NA-LX113AL	左記以外	
1300 mm 以上	1370 mm 以上	不要
1300 mm 未満	1370 mm 未満	蛇口のタイプにより要
1020 mm 以上	1020 mm 以上	要
1020 mm 未満	1020 mm 未満	

VGシリーズ 蛇口までの高さ		壁ピタ水栓
NA-VG760L/R	NA-VG2600L/R	
1280 mm 以上	1310 mm 以上	不要
1280 mm 未満	1310 mm 未満	蛇口のタイプにより要
1000 mm 以上	1000 mm 以上	要
1000 mm 未満	1000 mm 未満	

「壁ピタ水栓」(別売)
CB-L6 7,150円



■ 防水フロアに設置台がある場合 ■ フロアあて板 (P.7) を使用する場合



給水ホースを取り付ける前に

必ず汚れなどを、ぬれた布で拭き取ってください。汚れが取れなかったり、サビや傷がある場合は、水栓を取り替えてください。

- 本書で説明している別売品以外を使用すると、水漏れするおそれがあります。(保証の対象外)
- 日本電機工業会規格JEM1206に準拠している水栓(オートストッパー付、ツバあり)をお使いください。ご不明な場合は、水栓メーカーにお問い合わせください。

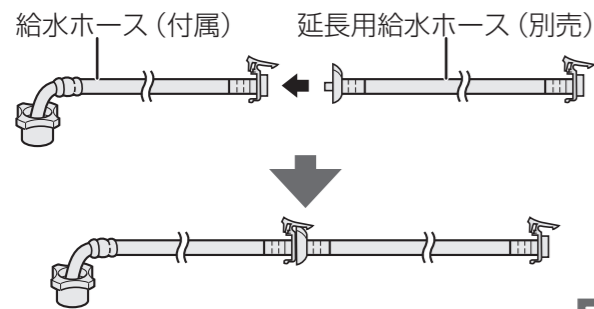
給水ホース

■長さが足りない場合

別売品 延長用給水ホースが必要です。

「延長用給水ホース」(別売)

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| ・0.5 m
AXW1251-250
1,430円 | ・3 m
AXW1251-203
2,530円 |
| ・1 m
AXW1251-201
1,870円 | ・5 m
AXW1251-205
3,795円 |
| ・2 m
AXW1251-202
2,200円 | |



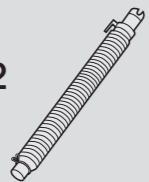
外部排水ホース

■長さが足りない場合

別売品 延長用排水ホースが必要です。

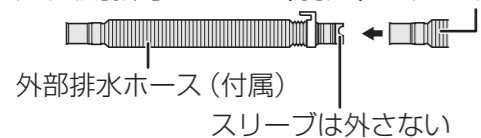
「延長用排水ホース」(別売)

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| ・1 m
AXW2D-31
1,430円 | ・2 m
AXW2D-32
2,200円 |
|----------------------------|----------------------------|

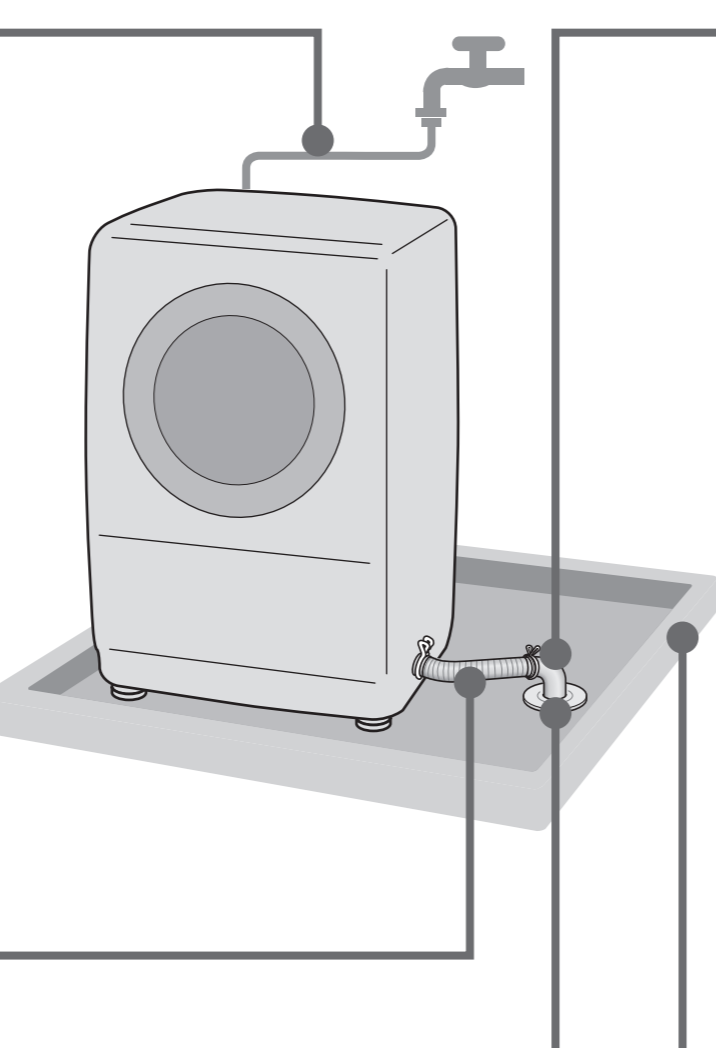


●接続手順

① 延長用排水ホース (別売) を差し込む



② ホースバンドで固定する



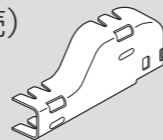
排水トラップ

■排水トラップがない場合

下水の臭いの逆流防止のため、排水ホースを途中で約10 cm立ち上げるか、別売品 簡易トラップホルダを使用してください。(P.9)

「簡易トラップホルダ」(別売)

AXW179-8DZ0 880円

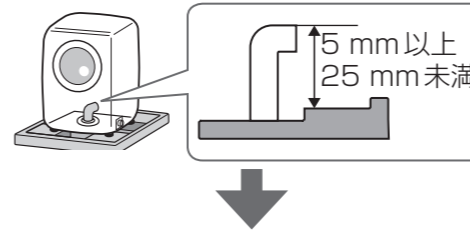


排水口 (本体真下のとき)

■排水パイプが高く本体底に当たる場合

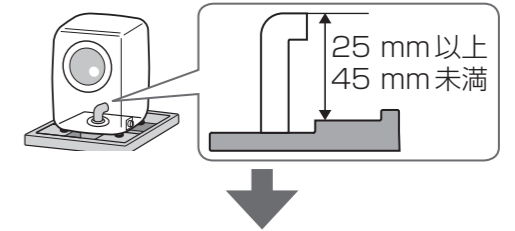
本体のかさ上げのため、別売品 フロアーあて板が必要です。

- 排水パイプと設置面の差が5 mm未満のとき
「フロアーあて板」は不要です。
- 排水パイプと設置面の差が5 mm以上25 mm未満のとき



「フロアーあて板」(別売)
1セット (4個)
N-MH3 1,100円 高さ約20 mm

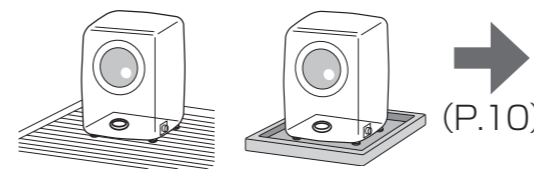
- 排水パイプと設置面の差が25 mm以上45 mm未満のとき



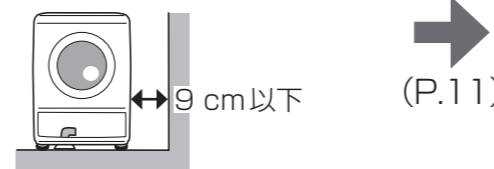
「フロアーあて板」(別売)
2セット (8個)
高さ約40 mm

お願い ● 「フロアーあて板」は3セット以上使用しないでください。(振動の原因)

■排水パイプがない場合



■LXシリーズ 横のスペースが9 cm以下の場合



「真下排水ユニット」(別売) ※使用しない場合は、排水不良や水漏れのおそれ
N-MH2 2,200円

(真下) 排水パイプ ホースバンドA 接着剤

必要に応じて使用

フロアーあて板 (4個)

ホースバンドB エルボ

VGシリーズ は使用しません (接続口が奥まっているため取り付け不可)

ホースホルダー

据え付け面

■据え付け面が弱い場合

別売品 補強板が必要です。

- 床 (真下排水):
- 床 (真下排水以外) / 防水フロアー (幅640 mm):
- 防水フロアー (幅800 mm):
- 防水フロアー (幅900 mm):

「補強板 A」(別売)
NSD-600 12,100円
600 × 650 × 71 (mm)

「補強板 B」(別売)
NSD-630 8,800円
630 × 630 × 21 (mm)

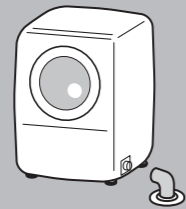
「補強板 C」(別売)
NSD-790 8,800円
790 × 630 × 21 (mm)

「補強板 D」(別売)
NSD-890 8,800円
890 × 630 × 21 (mm)

サイズ: (幅×奥行×高さ)

4 排水部の接続

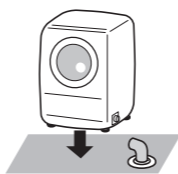
排水口が本体右



お願い

- 内部排水ホースの作業 (P.8、11) は、軍手などの保護具を必ず着用してください。(内部の端面などでけがをするおそれ)

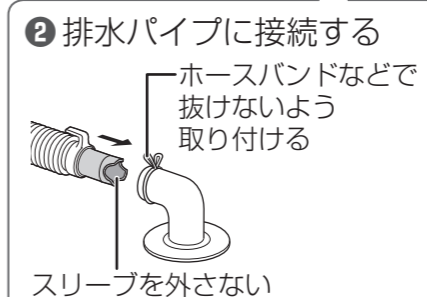
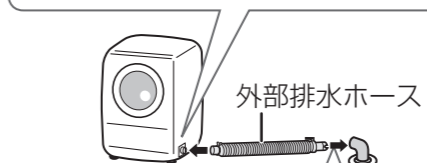
3 本体を据え付ける



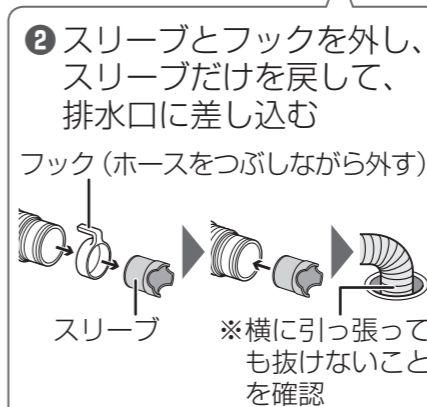
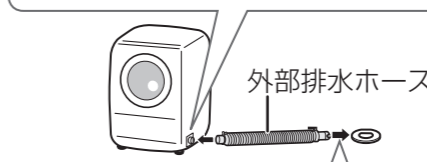
4 外部排水ホースをつなぐ

排水口が本体後ろの場合は、手順②のみ行ってください。

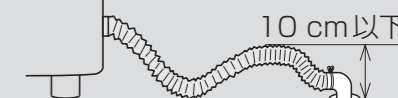
■排水パイプあり



■排水パイプなし

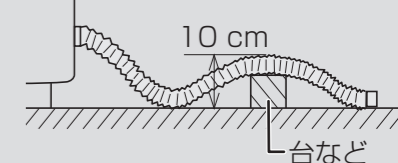


- 排水口に排水トラップがある場合
途中の立ち上がりは 10 cm 以下に!

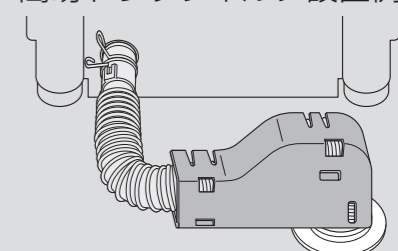


- 排水口に排水トラップがない場合
途中で約 10 cm 立ち上げるか、別売品簡易トラップホルダ (P.6) を使用してください。

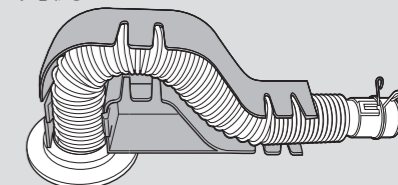
- 10 cm 立ち上げた例:



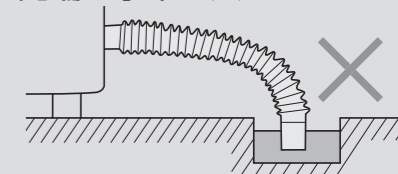
- 簡易トラップホルダ設置例:



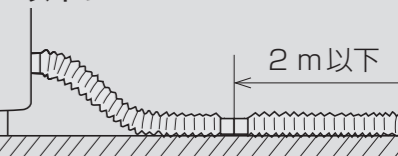
内側:



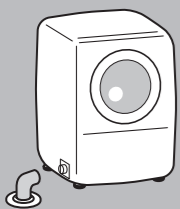
- 先端を水中に入れない!



- 延長用排水ホースは 2 m 以下に!

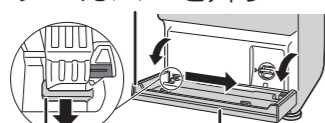


排水口が本体左



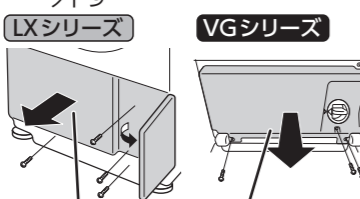
1 前面パネル・コントローラーユニットを外す

- 1 VGシリーズ 排水フィルターカバーを外す



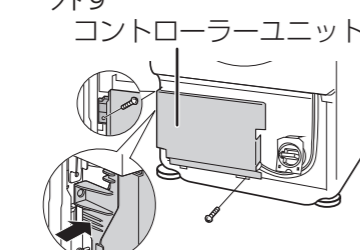
ツメを手前に引く 右側にずらして外す

- 2 固定ネジ (4か所) を外す



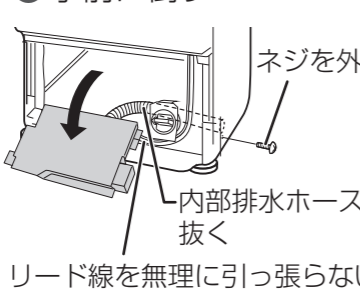
前面パネルを外す

- 3 固定ネジ (2か所) を外す



前面パネルを外す
コントローラーユニット

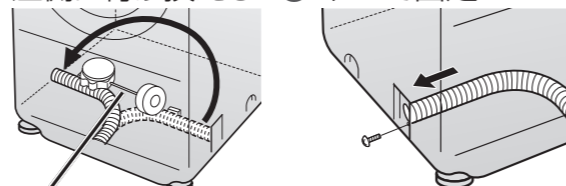
- 4 手前に倒す



内部排水ホースを抜く
リード線を無理に引っ張らない

2 内部排水ホースを付け換える

- 1 左側に付け換える
- 2 ネジで固定

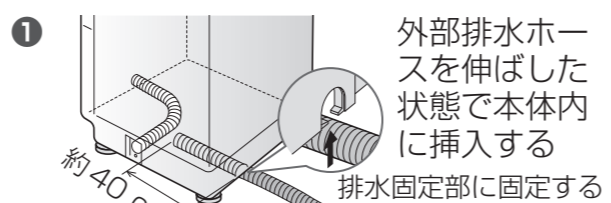


- 排水モーターのロッドに力を加えない。(排水異常の原因)

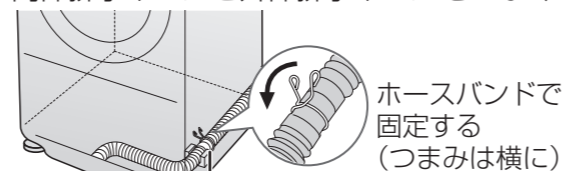
- 3 本体右側に付属のホース穴カバーを付ける

- 4 手順1で外したものを元に戻す (リード線はさみ込み注意)

2 内部排水ホースを付け換え、外部排水ホースをつなぐ



- 2 内部排水ホースと外部排水ホースをつなぐ

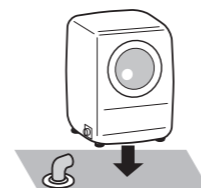


内部排水ホースを真下排水固定部に固定する
LXシリーズ: 本体右側、VGシリーズ: 本体左側

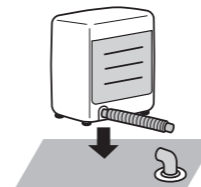
- 3 外部排水ホースのジャバラを縮めて、たるみなく真っ直ぐにする

- 4 コントローラーユニット・前面パネルを元に戻す (リード線はさみ込み注意)

3 本体を据え付ける



3 本体を据え付ける



排水口が本体後ろ



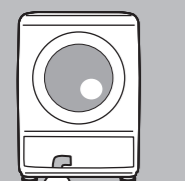
排水固定部

VGシリーズ



排水固定部

排水口が本体真下
(横に排水ホースを取り付けるスペースあり)



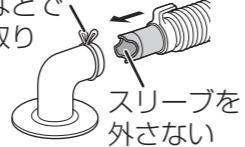
1 排水口に外部排水ホースをつなぐ

■ 排水パイプあり

- 排水パイプと設置面の差が5 mm未満のとき

① 排水パイプに接続する

ホースバンドなどで
抜けないよう取り
付ける

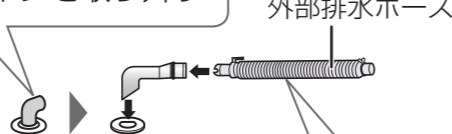


外部排水ホース

- 排水パイプと設置面の差が5 mm以上45 mm未満のとき
上記の手順で外部排水ホースをつなぎ、
別売品 フローアて板 (P.7) を設置してください。

- 排水パイプと設置面の差が45 mm以上のとき

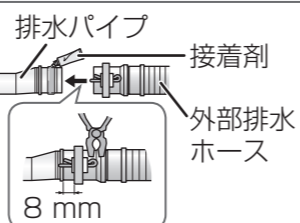
① 排水パイプを取り外す



② 「排水パイプなし」の 手順①②を行う

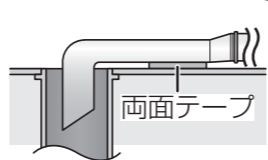
■ 排水パイプなし

① 外部排水ホースを 別売品 (真下) 排水パイプ (P.7) に接続する

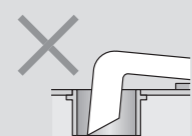


外部排水ホース

② 手順①の「(真下) 排水パイプ」 を排水口に取り付ける



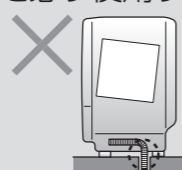
- 排水パイプが底に当たる場合は先端を斜めにカットする。



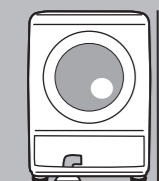
底に当たる

- 外部排水ホースを直接排水口につながない。

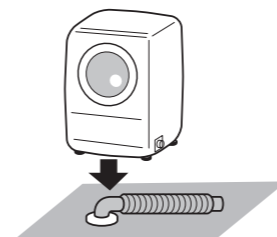
別売品 真下排水ユニット
(P.7) を必ず使用する



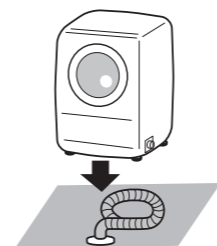
排水口が本体真下
(横に排水ホースを取り付けるスペースなし)



2 本体を据え付ける

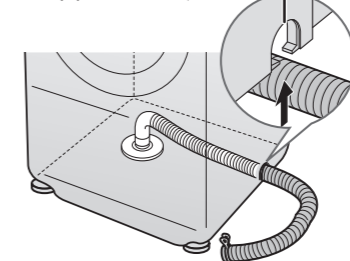


2 本体を据え付ける

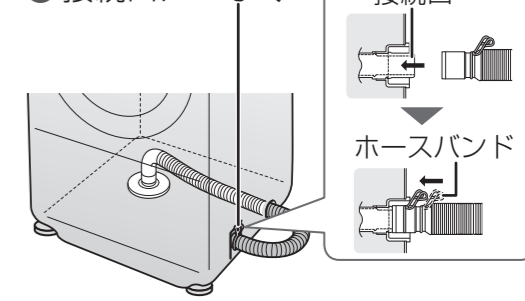


3 外部排水ホースを本体接続口につなぐ

① 本体側面の排水固定部にはめ込む

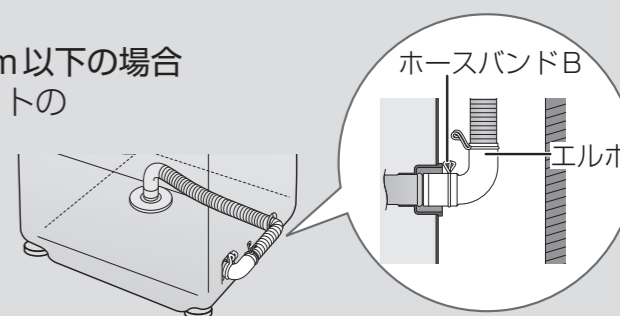


② 接続口につなぐ



LXシリーズ

- 横のスペースが9 cm以下の場合
別売品 真下排水ユニットの
「エルボ」と
「ホースバンドB」を
お使いください。



3 前面パネル・コントローラーユニットを外す

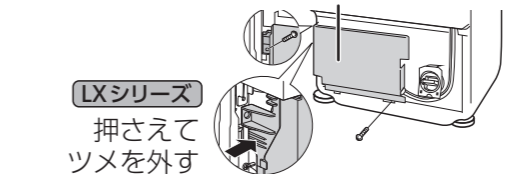
① VGシリーズ 排水フィルターカバーを 開ける



② 固定ネジ (4か所) を外す VGシリーズ



③ 固定ネジ (2か所) を外す コントローラーユニット

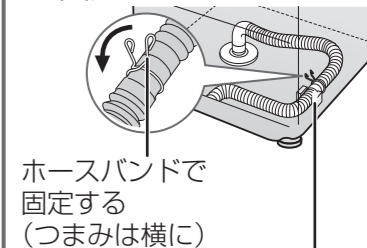


④ 手前に倒す



4 内部排水ホースと外部排水ホースをつなぐ

① 内部排水ホースを 真下排水固定部に 固定する



LXシリーズ: 本体右側
VGシリーズ: 本体左側

② 手順3で外したものを元に戻す (リード線はさみ込み注意)

- 外部排水ホースはたるまないよう調整する。

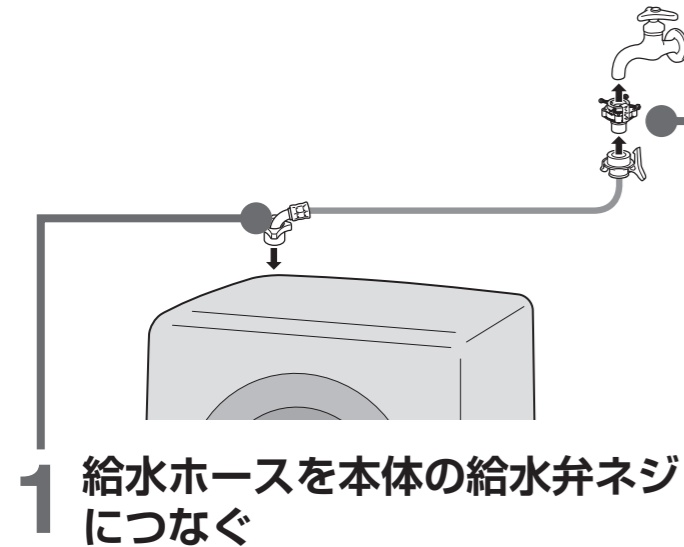
5 給水部の接続

■ 給水ホースを取り付ける前に水栓の種類を確認し、必要に応じて
別売品 給水栓ジョイントなどを接続してください。(P.5)

お願い

- 給水ホース・給水栓継手は、付属の新品を取り付けてください。
(古いものを使用すると水漏れの原因)

給水ホースを取り付ける



2 給水ホースを水栓につなぐ

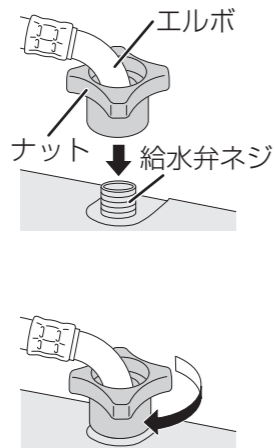
- 1 カバーを引き下げ、
たまま差し込む
- 2 レバーをツバに
掛ける(外れると、
水漏れの原因)



- まっすぐ入れてください。
斜めに挿入すると、オート
ストッパーの先端でゴム
パッキンを傷つけるおそれ
があります。

1 給水ホースを本体の給水弁ネジにつなぐ

- 1 給水ホースが引き
回ししやすいよう
に、エルボの位置を
決める
- 2 ナットと給水弁
ネジを水平に
合わせる
- 3 しっかりナットを
締め付ける



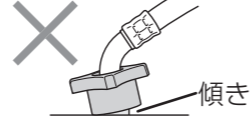
- ぐらつきや緩み・傾きがないか確認してください。(水漏れ防止)

注意

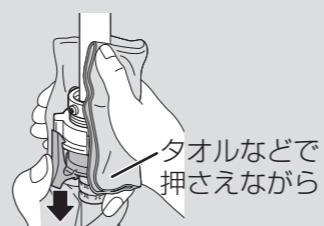
⊘ エルボを回して追い締めしない
(水漏れの原因)



⊘ ナットを傾けて締め付けない
(水漏れの原因)



⊘ 給水ホースは無理に折り曲げない
(ホース折れのクセが付く、水漏れの原因)



■ 給水ホースの外し方(止水弁の圧力の抜き方)

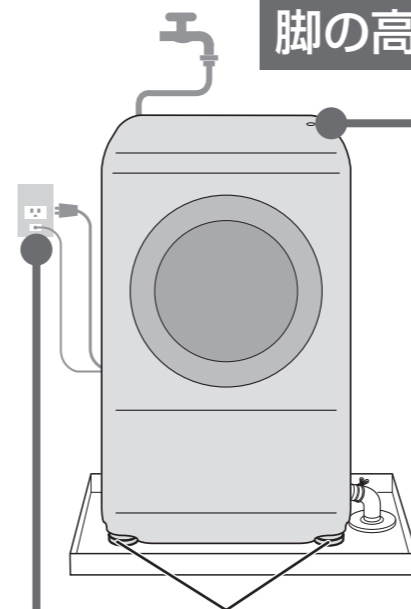
以下の手順でホース内の水を抜きホースを外す。(水の飛散防止)

- 1 水栓を閉じてドアを閉める
- 2 電源を入れてスタートする
- 3 約2分後、電源を切る
- 4 レバーを押し、カバーを引き下げた
まま、ホースを外す

6 脚の高さ調整・電源接続

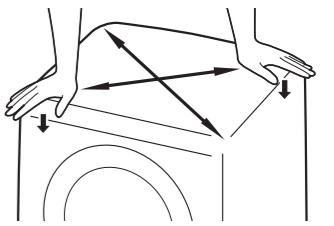
異常振動防止
のため必ず
実施

脚の高さ調整



■ ガタつきの確認

天面对角コーナーを交互に押して脚のガタつきがないか確認してください。ガタつく場合は脚の高さを調整し、水準器で水平を確認してください。



■ 水準器の確認

水準器の気泡の状態を確認しながら脚の高さを調整してください。

⊙ 水平 (円内に気泡がある) ▶ 調整不要

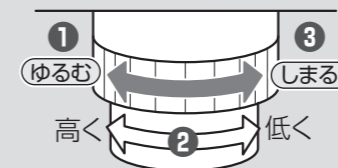
⊙ 右が高い ▶ 右を低くする
または
左を高くする

⊙ 左が高い ▶ 左を低くする
または
右を高くする

⊙ 後ろが高い ▶ 前を高くする
(2か所)

⊙ 前が高い ▶ 前を低くする
(2か所)

● 脚の調節方法



- 1 調節つまみを (ゆるむ) に回して緩める
- 2 調節脚を回して傾きを調節する
- 3 調節つまみを (締る) に回して固定する

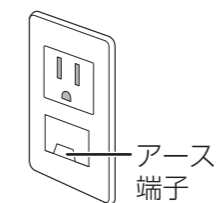
※調節脚は前部2か所です

アース・電源の接続

警告

⚠ アースを取り付ける
(漏電時に感電のおそれ)

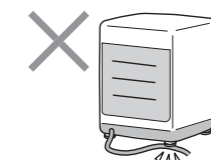
- コンセントにアース端子がある場合
接地抵抗値(100 Ω以下)を確認してください。
- コンセントにアース端子がない場合
アース工事を販売店または電気工事店に依頼してください。
(工事費は、本体価格に含まれていません)



⚠ 定格 15 A 以上・交流 100 V
のコンセントを単独で使う
(火災のおそれ)



⊘ 棚や本体などで
電源コードを挟まない
(断線による火災・感電のおそれ)



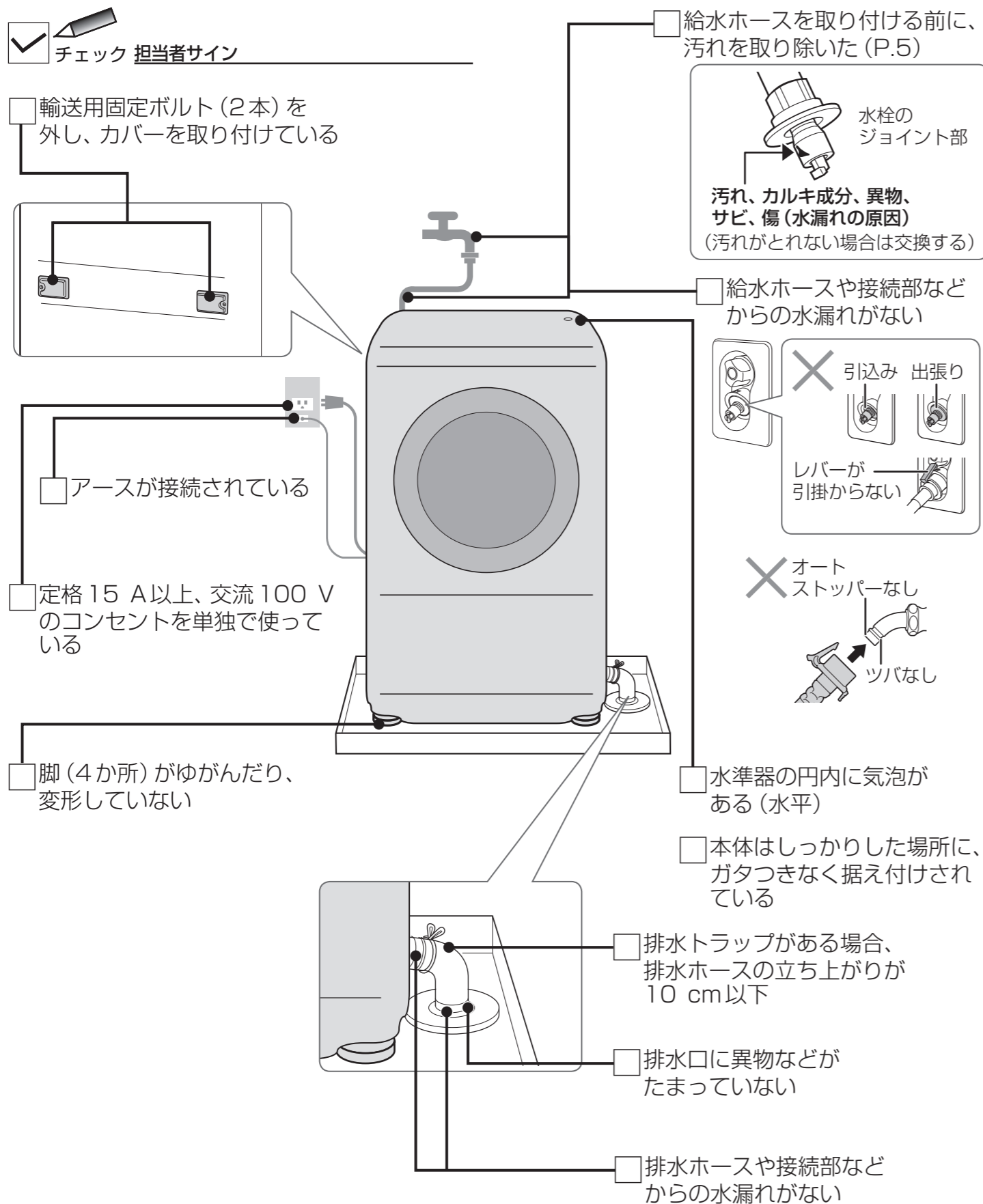
- 電気設備技術基準に基づき、必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。
この他に必ず漏電遮断器が必要です。使用する電源回路に漏電遮断器がない場合は、必ず取り付けてください。(法令で規定されています)
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路および漏電遮断器を入れた他の製品のアース回路には、接続しないでください。(法令などで禁止されています)
- 据え付け場所の変更や転居の際には、必ず再度アースの取り付けを行ってください。

7 点検・試運転

水漏れ防止のため必ず実施

点検項目

据え付け後、以下の項目を点検して試運転を行ってください。
チェック後、必ずサインしてお客様に据え付け完了の説明をしてください。



試運転を行う

- ドラム内に何も入れないで、「水漏れや異常音・振動がないこと」「正常に排水すること」を確認してください。
- 店頭展示デモモードが設定されている場合がありますが、試運転をすることで解除されます。

試運転の前に、輸送用固定ボルトが外れていることを必ず確認してください! (P.2)

■ LXシリーズ タッチパネルの場合

- ① 水栓を全開し、ドアを閉める
- ② 以下の操作を2秒以内に行う
両手で [電源] と [スタート/一時停止] を押し、[電源] のみ手を離し、([スタート/一時停止] を押したまま) 時刻表示中の画面 [12:00] をタッチして離す
- ③ [試運転を始める] を押す (約3分後に自動終了)

お知らせ

水道水圧が低い場合：自動的に乾燥経路の洗浄水量を増やす設定が行われ、運転終了後にお知らせします。

- タッチパネルの場合：画面に案内が表示 → 確認後、電源を切ってください。
- タッチパネル以外の場合：-L0 が表示 → 確認後、電源を切ってください。

■ LXシリーズ タッチパネル以外の場合

- ① 水栓を全開し、ドアを閉める
- ② [脱水] + [スタート/一時停止] を押しながらか [電源] を押す
- ③ 888 表示中に3秒以内に [スタート/一時停止] を押す (約3分後に自動終了)

■ VGシリーズ

- ① 水栓を全開し、ドアを閉める
- ② [電源] を押したまま、[水温] + [コース] を素早く押し、888 表示中、3秒以内に [コース] を押す (約3分後に自動終了)

■ 異常が出た場合

- 異常音・振動がある → 水平を確認 (P.13)
- 水漏れがある → ホースを正しく接続 (P.8 ~ 12)
- U11 (排水できない) が表示された → 排水ホースが途中で10 cmより高く立ち上がっていないかを確認 (排水トラップがある場合) → 排水ホースを正しく接続したかを確認 → 排水口が詰まっていないかを確認
- U14 (給水できない) が表示された → 給水ホースを接続し、水栓を開いたかを確認

原因・対処法 Web



異常音



振動



水漏れ

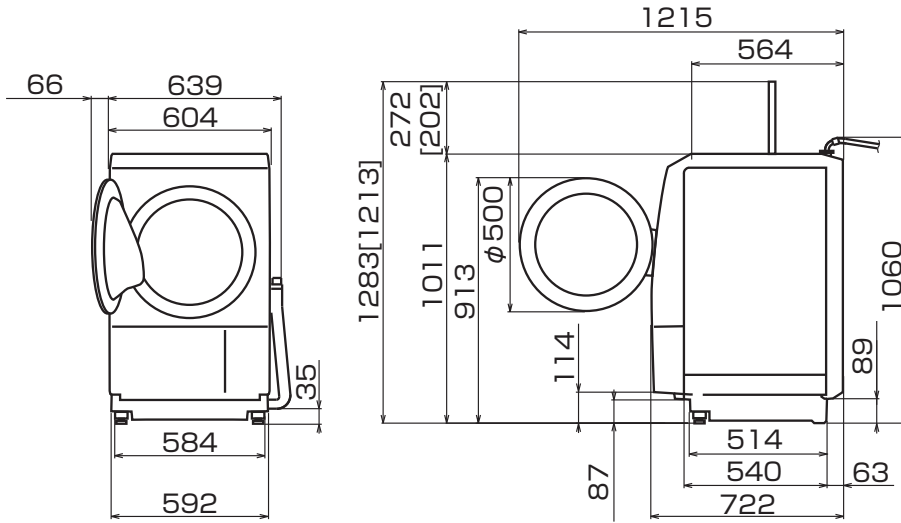


エラー状態解除後、[スタート/一時停止] を押すと試運転を再開します。

製品寸法 (単位: mm)

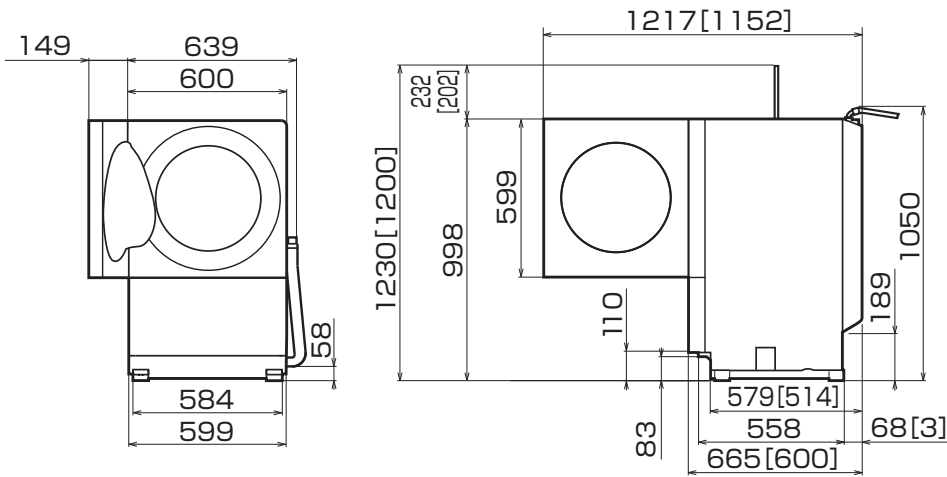
- ドア左開きの図を使用しています。
- ドアが開いたときのドアと壁までの距離にご注意ください。

LXシリーズ



※ [] 内寸法はNA-LX125AL/R、NA-LX113ALです。

VGシリーズ



※ [] 内寸法はNA-VG760L/Rです。

よくあるご質問

パナソニックホームページ内から
様々な問題の原因と対処方法を確認できます。
(通信料金はおお客様のご負担となります)



パナソニック株式会社 ランドリー・クリーナー事業部

〒525-8555 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号

© Panasonic Corporation 2021

AWW9903A85A0-OA0

S0721-0

2021年7月発行